

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

マークで学ぶ

SDGs

家でみつけるマーク

監修：蟹江憲史



ほるぷ出版

エス ディー ジー ズ も く ひ ょ う SDGsの17の目標

エスディーゼーズ けいざい かんきょう しゃかい
SDGsは経済、環境、社会のさまざまな課題を総合的に
あつかい、17の目標と、それをより具体的に示した169のター
ゲットとして設定しています。エスディーゼーズ
のロゴは右の図のよ
うに丸い輪で表されています。これは、1つの課題への取り
くみほか、かだいへもえいきょうしていることを示しています。目標
とターゲットは相互につながり、関係しているのです。



1

貧困をなくそう (ターゲットの数: 7)
世界の5歳から17歳の10人にひとりが、生活のために働いています。



2

飢餓をゼロに (ターゲットの数: 8)
世界では、9人にひとりがいつもおなかをすかせ、栄養がたりない暮らしをしています。



3

すべての人に健康と福祉を (ターゲットの数: 13)
サハラ砂漠より南のアフリカ地域では、13人にひとりが、5歳までに亡くなっています。



4

質の高い教育をみんなに (ターゲットの数: 10)
読み書きのできない15歳以上の人は世界に7億7300万人います。そのうち3人にふたりは女性です。



5

ジェンダー平等を実現しよう (ターゲットの数: 9)
世界でも女性の政治家は少なく、全体の25%ほどです。



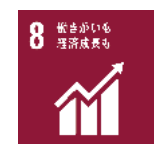
6

安全な水とトイレを世界中に (ターゲットの数: 8)
世界のおよそ3割の人々が、きれいで安全な水を飲むことができません。



7

エネルギーをみんなに そしてクリーンに (ターゲットの数: 5)
資源をこのまま使い続けると、石炭は100年、石油と天然ガスは50年ほどでなくなるとわれています。



8

働きがいも 経済成長も (ターゲットの数: 12)
世界のおよそ半分の人々は、1日約2ドル(200円) くらいの収入でくらしています。



9

産業と技術革新の基盤をつくろう (ターゲットの数: 8)
先進国では85%をこえるインターネットの普及率が、後発開発途上国では19%しかありません。



10

人や国の不平等をなくそう (ターゲットの数: 10)
世界の50%の財産を、たった1%の人々が持っています。



11

住み続けられるまちづくりを (ターゲットの数: 10)
世界全人口の55%が都市部でくらしていて、世界33都市の人口は増え続けています。



12

つくる責任 つかう責任 (ターゲットの数: 11)
世界で発生するプラスチックゴミは年間3億トンを超えますが、リサイクル率は15%ほどしかありません。



13

気候変動に具体的な対策を (ターゲットの数: 5)
世界の平均気温は、この100年で、0.71℃上昇しています。



14

海の豊かさを守ろう (ターゲットの数: 10)
世界の海には、すでに1億5000万トンのプラスチックゴミがあり、年間800万トン流入し続けています。



15

陸の豊かさを守ろう (ターゲットの数: 15)
毎年、1300万ヘクタールの森林が失われ、乾燥地では36億ヘクタールが砂漠化しています。



16

平和と公正をすべての人に (ターゲットの数: 16)
紛争によって学校に通えない6歳から15歳までの子どもは、22か国に2500万人います。



17

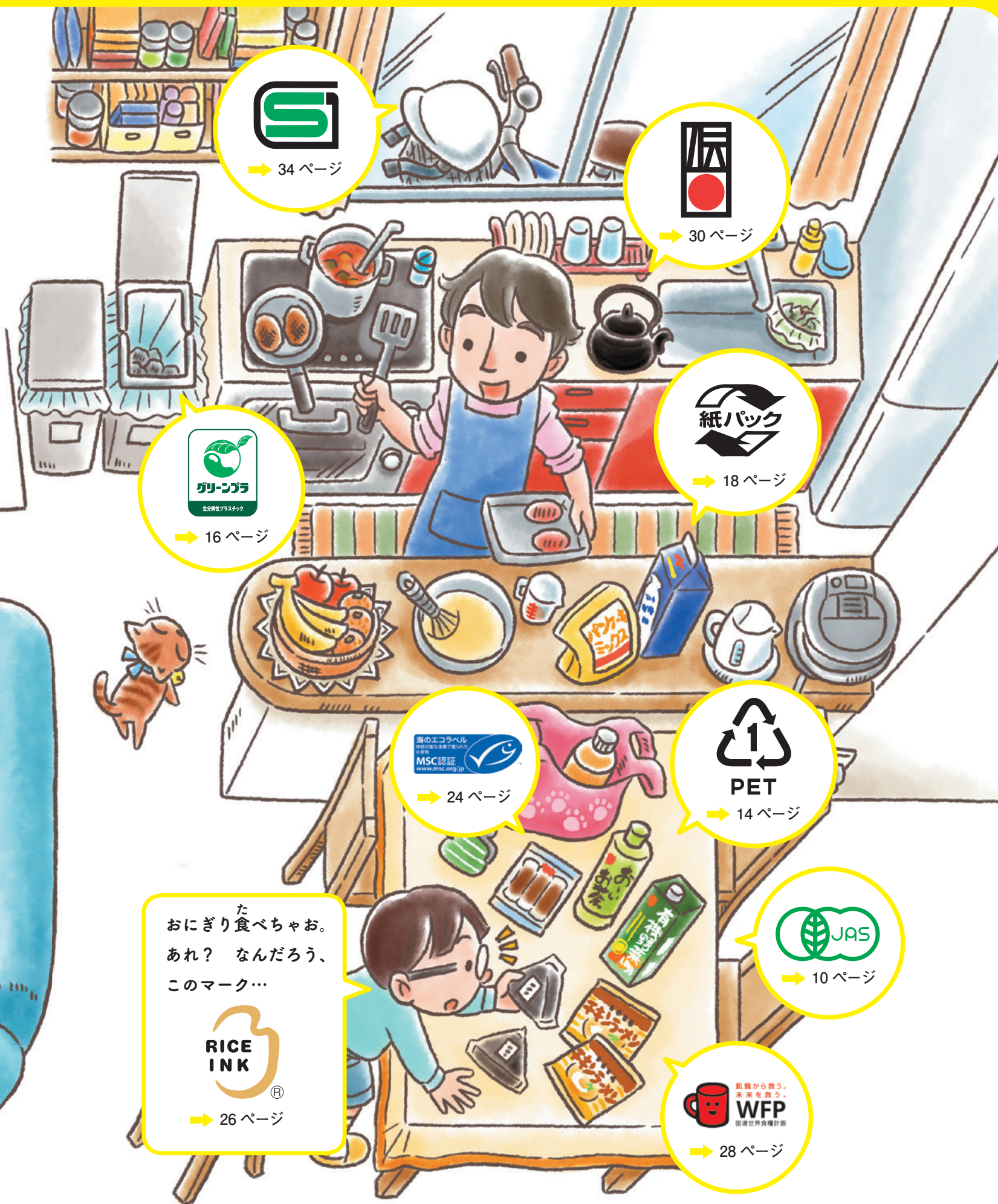
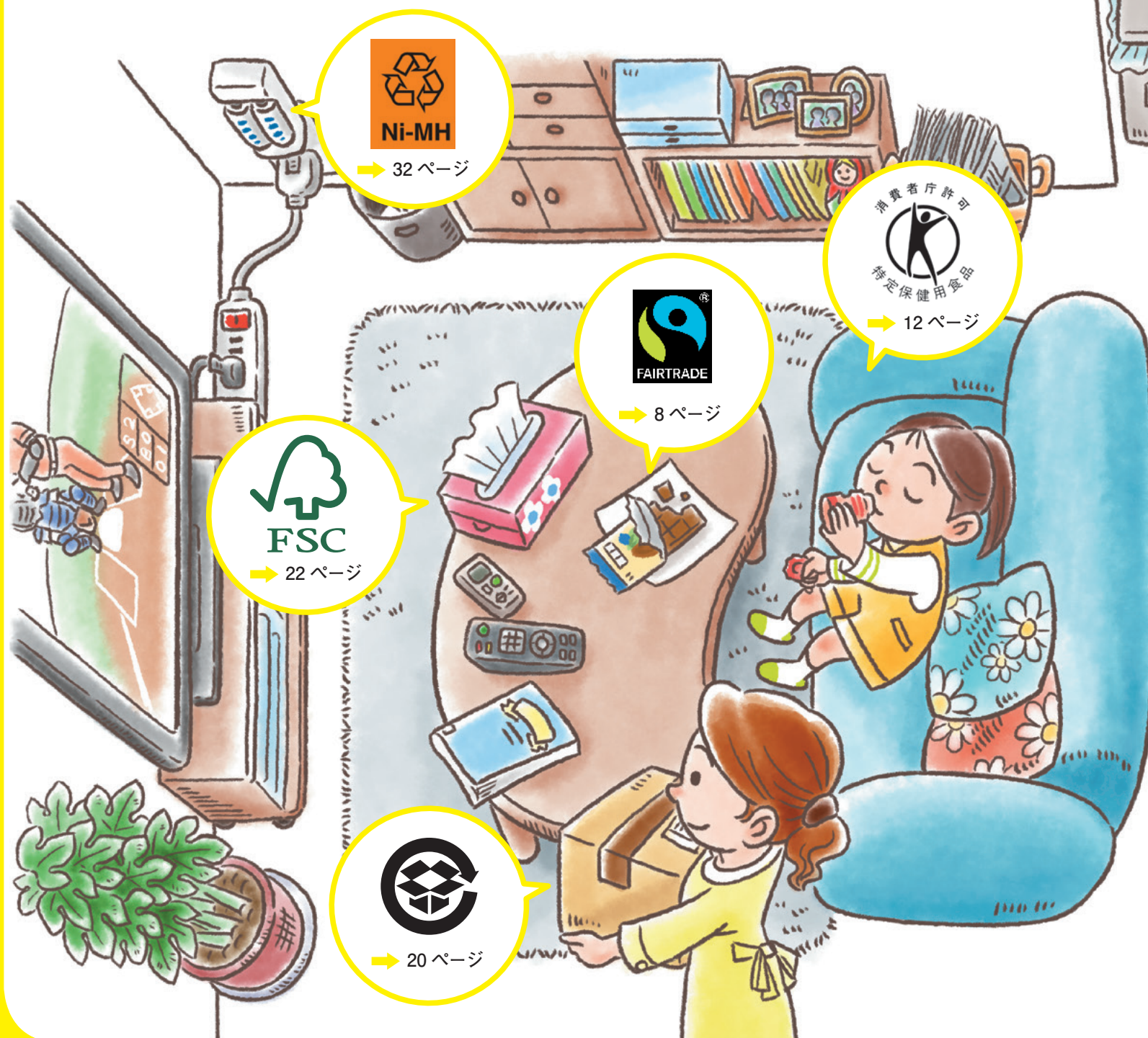
パートナーシップで目標を達成しよう (ターゲットの数: 19)
世界196の国と地域のうち、146か国が開発途上国とされています。

目標は
関連しあって
いる

17の目標は、ひとつひとつが独立するものではありません。課題を
いろいろな角度から考えると、多くの事柄とつながっていくことがわか
ります。たとえば、**目標4：質の高い教育をみんなに** からさまざま
な課題を考えてみましょう。だれもが教育を受けられるように、校舎を建てたり、教科書をつく
るためには、お金がかかります。「我が国は貧しくて、そのお金がない」という課題は **目標1：
貧困をなくそう**、「身分の低い人は学校に行けません！」という課題は **目標10：人や国の不平
等をなくそう**、「内戦が激しくて学校どころじゃないよ」という人には **目標16：平和と公正を
すべての人に** にも当てはまります。このように、いろいろな問題が関わってくるのです。

マークからSDGsを考えよう

エスディージーズ かんが
SDGsってどんなものかわかりましたか？ あなたの周りにも、SDGsと関係していることやモノはたくさんあります。それらを使ったり選んだり、それについて学んだりすることでも、あなた自身がSDGsに関わったことになるのです。さまざまなものについている「マーク」をきっかけにすると、どんなことがSDGsと関わっているかを、探したり見分けたりしやすくなります。身近なところにあるマークからSDGsにつながるものを探して、考えてみましょう。



国際フェアトレード認証ラベル

国際フェアトレードラベル機構によって、国際的に公正な取引が行われているかの基準（国際フェアトレード基準）が守られていることを証明された商品についているマークです。



なにを表したかたち？

開発途上国の生産者と輸出先の消費者とがつながり、前進していく姿を表しています。青の中の丸が人の頭で、その下が体。右手を高く上げています。未来への可能性を青空の青、成長や広がりを緑で表しています。



マークはどこにある？

日本で売られているチョコレートの包装紙にも、このマークがついているものがあります。ほかに、コーヒー、紅茶、バナナ、コットン製品などにもついているものがあります。

みつけた！



「国際フェアトレード」ってなに？

「フェアトレード」とは、「公平な貿易」という意味で、開発途上国でつくられた農作物や製品をつねに適正な値段で続けて買うことにより、立場の弱い開発途上国で働く人の生活をよくし自立を支えるしくみをさします。

たとえば、日本ではふつうに食べられているチョコレート。原料はカカオという豆で、開発途上国から輸入されます。カカオの輸入額を減らすために、先進国の輸入業者は開発途上国の農園から不当に安く買おうとすることがあります。そうすると農園の売上げが下がり、働く人への給料も多くは払え

ず、開発途上国はいつまでたっても貧しい暮らしをすることになってしまいます。そこで、国際フェアトレードラベル機構は、生産者の生活が保証される、持続可能な取引のための基準（国際フェアトレード基準）を設けました。

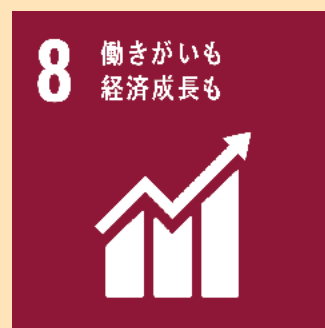
「国際フェアトレード認証ラベル」は、その原料が生産されてから、輸出入、加工、製造工程を経て完成品となるまでの各工程で、国際フェアトレード基準が守られていることを証明します。公正な貿易が行われることにより、開発途上国の労働環境や生活水準が守られることにつながるのです。

「国際フェアトレード認証ラベル」はこのSDGsにつながる！

国際フェアトレード認証ラベルがひろまることは、**開発途上国の経済成長**につながり、そこで働く人々の労働環境が改善されることで**働く人々の働きがい**が生まれ、**先進国と開発途上国の対等な関係**が促進されると考えられます。



1.1 2030年までに、人々が1日約200円以下で生活するような「極度の貧困」な状況を、あらゆる場所で終わらせる。



8.5 2030年までに、すべての人が、生産的で働きがいのある人間らしい仕事にすることができ、同じ労働で同じ賃金になるようにする。



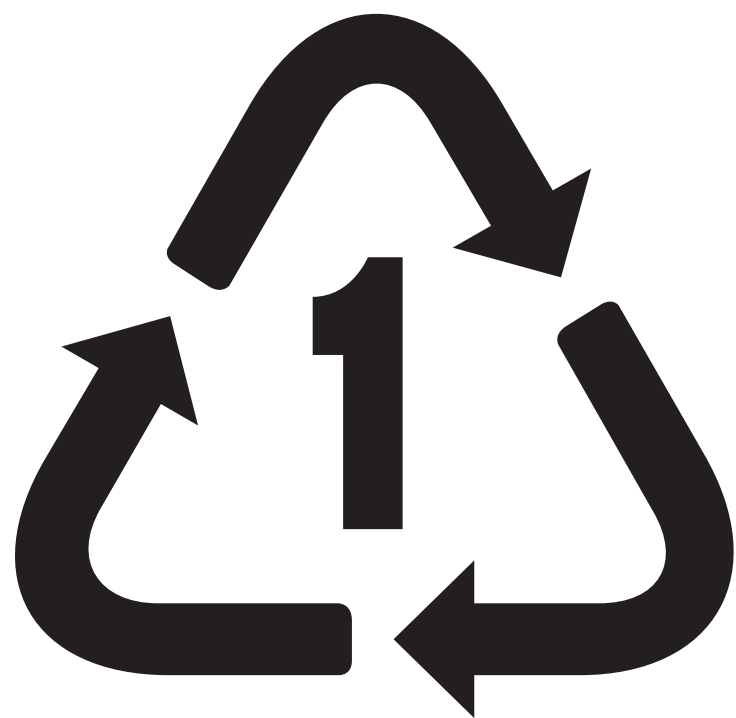
17.10 世界貿易機関（WTO）のもと、皆に適用されるようなルールにもとづいて、差別的でない、公平な多国間の貿易体制を推進する。

ほかに関連するSDGs



PET ボトル識別表示マーク

PET ボトルリサイクル推進協会によってつくられた、PET ボトルを捨てる時に他のプラスチック製品と分けて捨てるためのマークです。



PET



なにを表したかたち？

数字の1は、アメリカの米国プラスチック産業協会のコード番号です。「PET」はプラスチックの一種、polyethylene terephthalate の略で、日本では「ペット」とよんでいます。

関連のあるマーク

PET ボトルリサイクル推奨マーク



一度使ったPET ボトルを利用して、新しくつくられた製品につけられます。

PET再用品



マークはどこにある？

ジュースや炭酸水などの清涼飲料水のラベルに、このマークがついています。ほかに、しょうゆ、みりん、ドレッシング、酒などにもつけられています。

みつけた！



「PET ボトル識別表示マーク」ってなに？

「PET ボトル識別表示マーク」は、PET ボトルをゴミとして燃やさずに、もう一度使えるようにするしくみを支えています。

PET ボトルを燃やすと、二酸化炭素という温室効果ガスが生まれます。温室効果ガスは地球温暖化に影響をおよぼすガスです。そのため、リサイクルで集めたPET ボトルは燃やさずに細かくくだいたものを資源として再利用しています。

PET ボトルは「資源の有効な利用の促進に関する法律」、略して「資源有効促進法」にもとづき、マークをつけること

が義務づけられています。この法律は、2001 年につくられました。大量生産・大量消費を考え直し、「3R（リデュース・リユース・リサイクル）」の取り組みを促進するためです。リデュースは削減、リユースは再利用、リサイクルは再利用という意味です。おもに企業に対しての法律ですが、消費者がいっしょに取り組み3Rを実現することで、環境にやさしい、持続的な社会を築くことにつながるのです。

日本では、84.6%のPET ボトルが、燃やされずにリサイクルされています（2018 年度）。

「PET ボトル識別表示マーク」はこのSDGsにつながる！

PET ボトル識別表示マークを目印にして、分別することで【人々のリサイクル意識】を高めると、【海に流れるゴミの削減】につながります。商品にPET ボトルを使用する企業も、それを買う消費者も【廃棄物を管理する】ことができるようになります。

11 住み続けられるまちづくりを



2030 年までに、大気環境や、自治体などによる廃棄物の管理に特に注意することで、都市のひとりずつの環境への悪影響を小さくする。

2025 年までに、特に陸上生活からの汚染による、あらゆる種類の海洋汚染を防ぎ大幅に減らす。

14 海の豊かさを守ろう



12 つくる責任 つかう責任



2030 年までに、廃棄物の発生を、予防、削減（リデュース）、再生利用（リサイクル）や再利用（リユース）により大幅に減らす。

ほかに関連する ESGs

